

水道料金・下水道使用料のお支払い方法について

水道料金・下水道使用料のお支払方法は、口座振替・納付書によるお支払い方法があります。
※クレジットカードによるお支払いはできません。



<口座振替>

ご指定の口座から自動的に水道料金・下水道使用料が支払われます。

●取扱金融機関（令和6年4月1日現在）

みずほ銀行・三菱UFJ銀行・三井住友銀行・りそな銀行・滋賀銀行・京都銀行・関西みらい銀行
池田泉州銀行・四国銀行・みなと銀行・京都信用金庫・京都中央信用金庫・大阪信用金庫
枚方信用金庫・大同信用組合・成協信用組合・のぞみ信用組合・近畿産業信用組合
近畿労働金庫・北河内農業協同組合・ゆうちょ銀行

<納付書によるお支払い>

ご指定の場所（ご自宅等）に納付書を送付しますので、上下水道局窓口・取扱金融機関窓口・コンビニエンスストア・スマホ決済でお支払いください。

●上下水道局窓口

お客さまセンター（上下水道局庁舎1階・枚方市役所本館1階）
北部支所・香里ヶ丘支所・津田支所

●取扱金融機関窓口（令和6年4月1日現在）

りそな銀行・滋賀銀行・京都銀行・関西みらい銀行・池田泉州銀行・四国銀行
京都信用金庫・京都中央信用金庫・大阪信用金庫・枚方信用金庫
大同信用組合・成協信用組合・のぞみ信用組合・近畿産業信用組合
近畿労働金庫・北河内農業協同組合・ゆうちょ銀行（近畿2府4県内）

※みずほ銀行・三菱UFJ銀行・三井住友銀行・みなと銀行につきましては、令和6年3月31日をもって納付書による窓口収納の取扱いを終了しました。（口座振替はご利用できます。）

●コンビニエンスストア（令和6年4月1日現在）

セブン-イレブン・ローソン・ファミリーマート・ミニストップ・ポプラ・生活彩家・暮らしハウス・スリーエイト・デイリーヤマザキ・ヤマザキデイリーストア・ヤマザキスペシャルパートナーショップ・ニューヤマザキデイリーストア・セイコーマート・ハマナスクラブ・MMK 設置店

●スマホ決済（令和6年4月1日現在）

LINEPay・PayB・楽天銀行コンビニ支払サービス・PayPay・auPAY・d払い・FamiPay

※スマホ決済ご利用の際、上下水道局から領収書は発行できません。領収書が必要な場合は、上下水道局窓口・取扱金融機関窓口・コンビニエンスストアでお支払いください。

【記事に関するお問い合わせ：上下水道財務課】

★市民の皆さまと上下水道局をつなぐ水のお便り

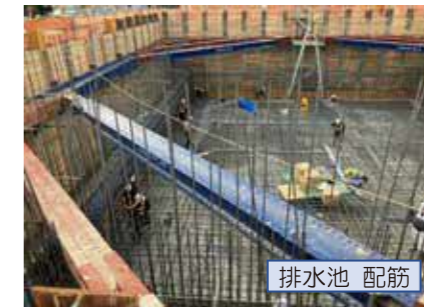
Water通信

第12号
令和6年4月

発行 枚方市上下水道局 〒573-1030 枚方市中宮北町20番3号 TEL 072-848-4199（代） FAX 072-848-8255

「Water通信」は、上下水道局が取り組んでいる“水”に関する情報を広くご紹介するための情報誌です。
「Water通信」第12号では、『中宮浄水場更新事業の進捗』、『楠葉地区における浸水対策の取り組み』、『「土のうステーション」の活用！』、『水道料金・下水道使用料のお支払い方法について』、をご紹介します。

中宮浄水場更新事業の進捗をお知らせします



現在、『排水池』及び『雨水貯留槽』の築造工事を行っています。排水池は、淀川からくみ上げた水を飲み水にするための処理工程で出た汚泥水を貯めて、大きな汚れを沈殿させることによって汚泥と水に分離させるための施設です。汚泥水から分離された水はもう一度飲み水になるための処理工程へと戻されます。こうした無駄な水を出さない水処理工程を「クローズシステム」と呼びます。雨水貯留槽は下流域の浸水対策として、雨が降っている時に一時的に敷地内に雨水を貯め、小さな穴から少しずつ貯まった雨水を流すための施設です。上下水道局では、鷹塚山配水場や津田低区配水場などの水道施設においても、枚方市の浸水対策に寄与するため、更新工事の際には雨水を貯留するための雨水流出抑制施設の整備を進めており、新たな中宮浄水場には約1,100㎡（学校のプール3杯分）の雨水を貯留できる施設を整備します。

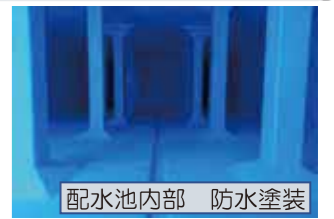
令和6年度からは『前処理施設』や今回新たに導入しました「膜ろ過」の設備を設置する『膜ろ過棟』の着手に入る予定です。

現在市のホームページでもさまざまな情報を発信しています。ぜひご覧ください！



津田低区配水場耐震化事業が完了しました

津田低区配水場は昭和59年に建設し、枚方市の中部・東部地域に送水・給水している重要な施設ですが、施設の耐震性が乏しいことから安全・安心な水道水を安定的に供給するため平成29年度から施設の耐震化等に取り組んでいました。この度、令和3年6月の3号池完成、令和4年10月の1号池耐震化工事完成に続き、令和5年6月に2号池耐震化工事及び災害時などに利用できる応急給水栓が完成しました。これをもって津田低区配水場の全ての耐震化事業が完了しました。



【記事に関するお問い合わせ：浄水課】

大雨からまちを守る ～下水道浸水被害軽減総合事業～

楠葉貯留管が令和6年2月に完成し、下水道浸水被害軽減総合事業が完了しました。

事業の概要

上下水道局では、10年に一度の確率で発生する降雨（54.4mm/時間）に対する整備を進めています。平成24年の集中豪雨（時間最大108.5mm）による被害を受け、計画降雨を上回る降雨への対策として、南部地区の蹠跚排水区と北部地区の楠葉排水区で「下水道浸水被害軽減総合計画」を策定し、雨水を一時的に貯留管などに貯めることにより浸水被害を軽減できる雨水貯留施設の整備に取り組んできました。

下水道浸水被害軽減総合計画（蹠跚排水区）【令和2年2月完了】

蹠跚雨水貯留管 約 12,800 m ³	東中振雨水調整池 約 14,600 m ³
走谷雨水調整池 約 600 m ³	北中振雨水貯留管 約 300 m ³



事業の詳細はこちら

楠葉貯留管の概要

楠葉中央交差点付近では、過去から度重なる家屋への浸水や道路冠水が発生しており、その被害を軽減するため、市道楠葉中央線の地下に内径5.0m、延長約1.0kmの貯留管を整備しました。このことにより、雨水を一時的に最大約20,000m³（25mプール約56杯分）貯留することが可能となり、浸水被害の軽減が見込めます。



楠葉貯留管完成までの経過



楠葉貯留管の完成により、本事業の整備が完了しました。今後は整備した施設を適正に管理・運用し、浸水被害の軽減に努めていきます。
最後に、各施設の整備にあたり、近隣の皆様にはご理解・ご協力をいただき感謝申し上げます。

「土のうステーション」の活用を！

近年、多発している局地的集中豪雨や台風などによる家屋への浸水被害の対策の一つとして、枚方市上下水道局では、共助の観点から、皆さまがご自身で自宅の浸水被害等を未然に防ぐことを目的とし、いつでも土のうをご利用いただける「土のうステーション」を市内13箇所に設置しています。水害から我が家を守るために、大雨が予想される時は、ぜひ「土のうステーション」をご活用ください。



「土のうステーション」利用方法

以下の手順で「土のうステーション」をご利用ください。なお、利用に関し、事前申し込みは不要です。また、土のうの取り出し、運搬など「土のうステーション」をご利用の際は、怪我や事故など十分注意してください。



① ◆まず、緑のカバーを外します。



② ◆天面パネルを開けます。



③ ◆必要な土のうを取り出します。



④ ◆天面パネルを閉め、緑のカバーを元の状態にお戻しください。

「土のうステーション」枚方市内設置場所一覧

所在地	設置場所	所在地	設置場所
1 南楠葉3-7-10付近	六反町公園	8 養父丘2-28付近	小規模公園
2 楠葉朝日2-15付近	七ツ松公園	9 養父東町4付近	養父東公園
3 楠葉朝日1-15-6付近	面取公園	10 長尾東町2-25-12	長尾グリーンポリス自治会館
4 池之宮2丁目	市管理道路	11 桜町10-6付近	水面回廊
5 楠葉朝日2-1付近	小規模公園	12 養父丘1-47-2	養父会館
6 枚方市宮之阪4-19付近	宮之阪東公園	13 牧野阪1丁目付近	きりん緑道
7 北中振3-27-10	蹠跚生涯学習市民センター		



詳細はこちら



※土のうが不足している場合は上下水道総務課 危機管理担当（TEL:072-848-4196）までご連絡をお願いします。